資料4

居住支援事業改善に向けたご意見と事業スケジュールについて

居住支援事業改善に向けたご意見等

事務局においては、居住支援事業の一層の改善を図るため、協議会委員、受託事業者および区相談窓口担当者に対し、当該事業に関して抱えている課題やご要望等について、幅広くご意見を伺った。

《居住支援事業へ感じている課題や要望等》

- 相談業務受託事業者（HS東京）と地域包括支援センターで課題感の共有を図り、シームレスな支援体制を構築していけたらより良い。

- 千代田区内、特に番町・麹町エリアでは高齢独居者の賃貸契約が難しく、相談増加が見込まれる中、民間賃貸に加え老人ホームやサ高住、ケアハウス等を含む住まいの選択肢を案内する支援が求められているように感じる

  ▶ **地域包括支援センターを含む各相談窓口と、受託事業者で課題等を共有できる場を設け、情報連携を図り、相談者に多様な選択肢を提示できる支援体制構築を目指す。**

- 面談後のフォローアップが重要であると感じる一方で、長期化するようなケースでどこまで伴走的に支援していくべきかの判断が難しい。

  ▶ **受託事業者を含め、居住支援法人の実施業務での事例を収集していく**

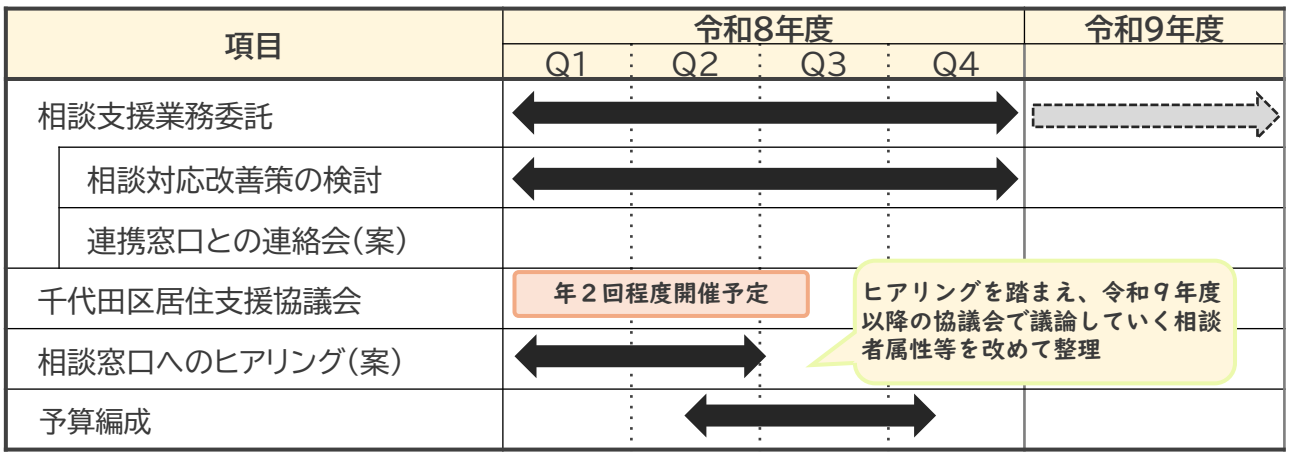
- 障害者支援窓口からの住まい相談に関する要望があるが対応に課題を感じる。

  ▶ **関係者へのヒアリングを実施し、高齢者以外の相談属性に関する方針を整理する。**

《その他 質問事項等》

- 「支援計画書兼報告書」における課題記載の内容に差が見られますが、特に「地域社会からの孤立」がほとんど記載されていない点について、把握が難しかったなど背景があれば教えてください。

- 都営・区営住宅は応募倍率が50～100倍と住み替え先として案内するには現実的でない状況のなか、区の公営住宅整備等をどのように計画されているかお教えいただきたい。

今後の事業スケジュール

令和8年度
- ○ 引き続き株式会社ホッとスペース東京へ「高齢者等住み替え相談支援業務」を委託
- ○ 高齢者あんしんセンター等連携窓口との情報共有や意見交換を目的に連絡会を開催予定
- ○ 低額所得者や障害者など、高齢者以外の属性を主管する窓口へのヒアリングを実施予定